

福島第一原発事故の放射能汚染地図

RADIATION CONTOUR MAP of the Fukushima Daiichi accident

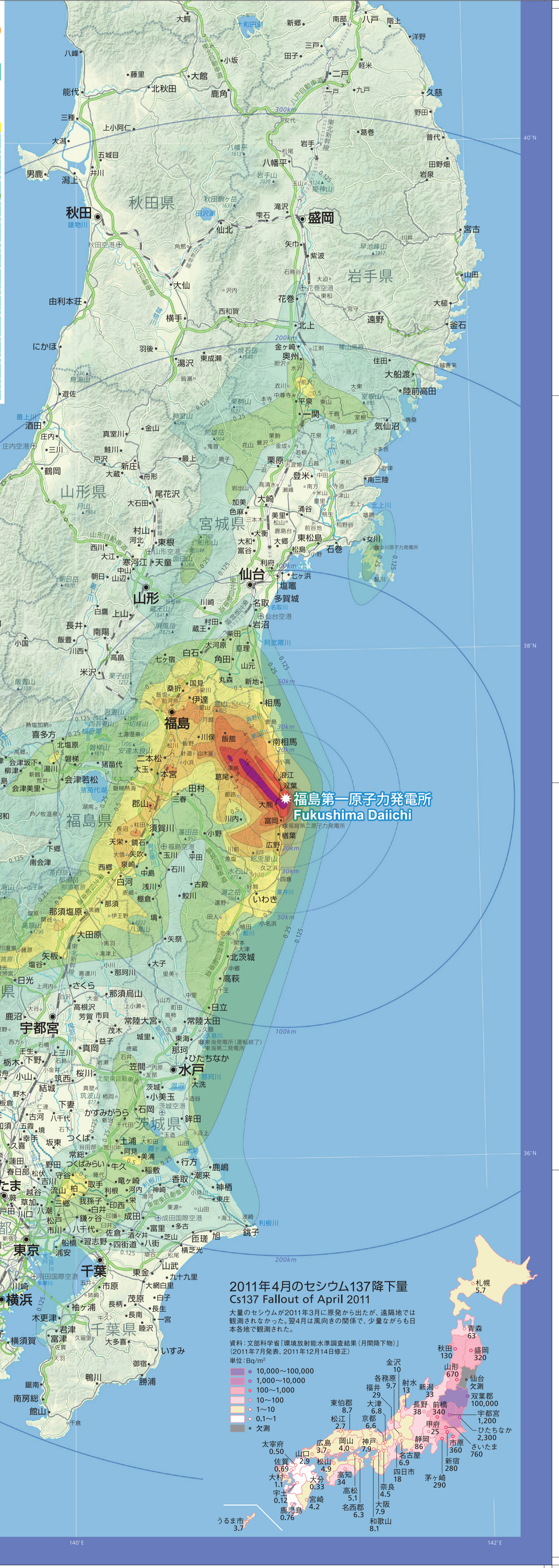
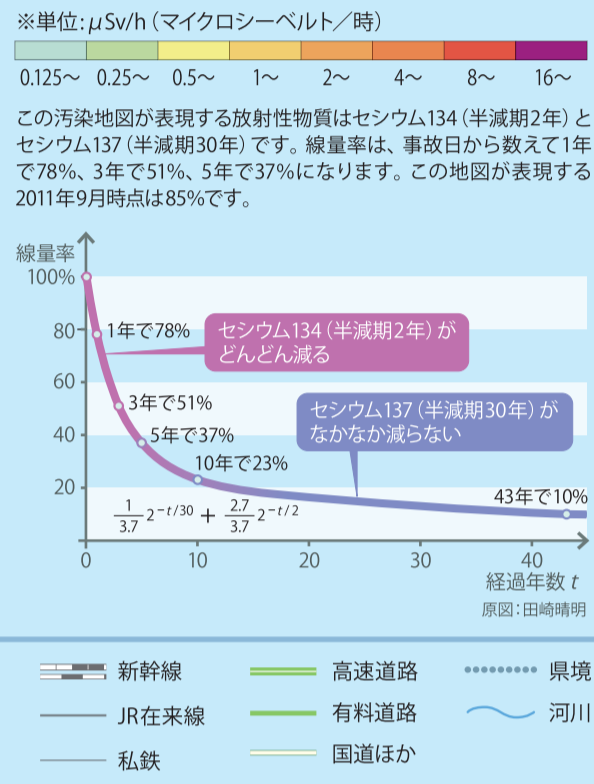
この地図は、2011年3月に地表に落ちた放射性物質がそのままの状態に保存されている場所の2011年9月時点の放射線量率を示しています。芝生あるいは草地の上1mの値(μSv/h)です。土やアスファルトの上は放射性物質が風雨で取り去られやすいので、この地図より低くなります。一方、それらが集積する雨どい・軒下・側溝・路傍などは局所的にこの地図より何倍も高くなります。

著者：早川由紀夫(群馬大学)
七訂版 2012年8月8日(初版2011年4月21日)
Yukio Hayakawa, Gunma University
7th edition, 8 August 2012



放射能対策に正解はありません。放射能とどう折り合いをつけるかは、個人の事情によって異なります。

この地図の収録範囲



この地図の作成に当たっては、国土地理院の承諾を得て、国産発行の50万分の1地図を使用しました。(国産発行: 平成24年度 第200号)

地図製図: 萩原佐知子 (TUBE graphics)